

はじめに

【戦略編の策定趣旨】

○今後10年間でパラダイムの転換が求められる3つの分野

- ・「暮らし・コミュニティ」
- ・「産業・活力」
- ・「低炭素社会・エネルギー転換」

に経営資源の集中配分を行うための
「まちづくりの指針」
と、それを実現するための
「行財政運営の視点」を示す。

■まちづくりの指針

第1章「**8つの創造戦略**」

第2章「**戦略を支える都市空間**」

～戦略を促進する都市整備の基本方針～

■行財政運営の視点

第3章「**戦略の展開に当たって踏まえるべき行財政運営の視点**」

戦略ビジョン

ビジョン編

「目指すべき都市像」と、それ
を実現する「まちづくりの基本
目標」を示したもの。

都市経営戦略

戦略編

第1章 創造戦略

第2章 都市空間

第3章 行財政運営の視点

第1章 創造戦略

創造戦略1 地域福祉力創造戦略 ～市民が孤立することのない地域づくり～

施策の方向性	1-① 市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり	・地区福まちの活性化による見守りの推進 ・要支援者情報の取扱いルール確立
	1-② 地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり	・保健師等による地域へのアプローチ強化 ・地域医療ネットワークの構築
	1-③ 災害に備えた地域防災体制づくり	・避難場所等の防寒対策 ・備蓄倉庫の整備および備蓄物資の拡充

創造戦略2 共生社会創造戦略 ～全ての市民が社会に参加できる地域づくり～

施策の方向性	2-① 地域で共生する環境づくり	・学校や児童会館を活用した多世代交流の推進 ・経済的困難を抱える市民の自立支援
	2-② 子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり	・待機児童の解消 ・小学校と児童会館の併設化
	2-③ 歩いて暮らせるまちづくり	・公共施設の効果的かつ効率的な再配置 ・地下鉄駅周辺等のバリアフリー化の推進

創造戦略3 地域マネジメント創造戦略 ～地域資源の活用の推進～

施策の方向性	3-① 地域活動を活発化する環境づくり	・学校と地域の連携促進 ・空き家等を活用した地域活動の拠点づくり
	3-② 地域マネジメントの推進	・地域課題解決に向けた区役所の機能強化 ・区民協議会等の活動の活発化支援
	3-③ 雪と共存した暮らしの推進	・除雪のあり方に関する市民議論 ・福祉除雪など冬のボランティアの推進

創造戦略4 札幌型産業創造戦略 ～新たな価値の創造による産業の高度化～

産業・活力 施策の方向性	4-① 食の魅力を生かした産業の高度化	・道内産品を活用した食のブランドづくり ・フード特区を活用した食関連産業の誘致
	4-② 魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進	・観光まちづくりプランの策定 ・MICE誘致や海外プロモーション強化
	4-③ エネルギー転換に対応した環境産業の創造	・エネルギー関連技術の産業化（研究開発支援）
	4-④ 超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造	・生活・健康支援（ウェルネス・サイエンス）産業の振興

創造戦略5 都市ブランド創造戦略 ～道内循環を高め、道外需要を取り込む手法と基盤づくり～

産業・活力 施策の方向性	5-① 世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開	・国際戦略プランの策定 ・若い世代の海外経験の促進
	5-② 創造性を生かしたイノベーションの誘発	・コンテンツ特区の活用による産業振興 ・文化芸術の産業化に向けた取組
	5-③ 広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実	・道内連携、産業間連携の促進 ・広域ネットワーク（都心アクセス強化道路軸等）の強化
	5-④ シティプロモート戦略の積極展開	・SAPPOROの市内外への展開 ・国際的な冬季スポーツ大会の誘致

創造戦略6 産業人材創造戦略 ～将来の札幌・北海道経済を支える人材の育成・活用～

産業・活力 施策の方向性	6-① 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用	・創造性や国際感覚を育む教育 ・留学生や高度人材などの誘致
	6-② 誰もが活躍できる社会の実現	・女性の活躍を支援する保育サービスの拡充 ・ソーシャルビジネスの立ち上げ支援

創造戦略7 低炭素都市創造戦略 ～環境負荷の少ない都市構造の形成～

低炭素社会・エネルギー転換 施策の方向性	7-① 持続可能な集約型の都市への再構築	・地下鉄駅等拠点への機能集約と利便性の向上 ・低炭素まちづくり計画の策定検討
	7-② 多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立	・持続可能な公共交通体系の確立
	7-③ 自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進	・生物多様性の意識の醸成 ・市街地におけるみどり豊かなオープンスペース

創造戦略8 次世代型エネルギー創造戦略 ～エネルギー効率と安定性の向上～

低炭素社会・エネルギー転換 施策の方向性	8-① 次世代エネルギーシステムの普及促進	・エネルギー政策大綱・基本計画の策定 ・再生可能エネルギーの普及促進
	8-② 自立分散型エネルギーネットワークの展開	・都心部でのエネルギーネットワークの構築促進 ・既存の都市基盤を活かしたエネルギー利用
	8-③ 市民・企業による環境負荷低減の取組の推進	・再生可能エネルギーの市有施設への先導的導入 ・市民の省エネ取組の支援
	8-④ 循環型社会の構築	・廃棄物の減量の推進 ・ごみ焼却エネルギーの効率的な回収

第2章 戦略を支える都市空間

第1節 都市空間の現状と取組の方向性

＜都市基盤＞

・計画的な整備により極めて高い水準 ・札幌オリンピック以降に急速に整備された都市基盤が老朽化

パラダイムの転換が必要な3つのテーマ

＜暮らし・コミュニティ＞

・地域ごとに高齢化に差異
・住み替えニーズの多様化

＜産業・活力＞

・経済を支える物流機能
(交通ネットワークなど)が脆弱

＜低炭素社会・エネルギー転換＞

・低炭素まちづくりへの機運
・市内に存在する熱供給ネットワークの存在

第2節 都市空間の創造に当たっての基本的な考え方

1 都市空間創造の基本目標

取組の方向性

都市基盤

・都市基盤の効率的な維持・保全

暮らし・コミュニティ

・超高齢社会を見据えた都市機能の集約
・地域の特性に応じた取組の展開

産業・活力

・経済を支える交通ネットワークの強化

低炭素社会・エネルギー転換

・公共交通を基軸としたまちづくりの推進
・エネルギーネットワークの強化

基本目標

持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築を進める

○超高齢社会を見据え、地下鉄駅の周辺などに、居住機能と生活を支える多様な都市機能を集約することで、効率的に都市サービスを楽しむことができるコンパクトな都市

○良好な環境を備える郊外での暮らしを選択するなど、住まいの多様性が確保された札幌らしいライフスタイルが実現できる都市

○公共交通を基軸としたまちづくりを推進するとともに、新たなエネルギーネットワークを構築する環境都市

○都市の活力を創出するため、道内外と多様な交通ネットワークでつながる、北海道の中心都市

○都市基盤が効率的に維持・保全され、災害に強い安全安心な都市

第2節 都市空間の創造に当たっての基本的な考え方

2 目指す都市空間

魅力ある市街地

複合型高度利用市街地 おおむね環状通の内側と地下鉄沿線、地域交流拠点に位置付けられるJR駅周辺

・高密度な市街地の形成
・居住と生活を支える機能の複合的集積

郊外住宅地 住区整備基本計画などに基づき、低層住宅地を主として計画的に整備してきた地域

・良好な生活環境の保全
・誰もが安心して暮らすことができるまちづくり

一般市街地 複合型高度利用市街地と郊外住宅地以外の市街地

・多様な住宅地と工業地からなる市街地

○再開発は原則、複合型高度利用市街地内とする(篠路、苗穂、琴似、手稲など)

○学校とコミュニティ拠点(まちセンなど)の併設化
○コミュニティ交通の検討
○空き地・空き家の適切な管理や活用支援

○それぞれの地域に応じた適切な土地利用計画制度の運用

活力があふれ世界を引き付ける都心

都心

JR札幌駅北口の一帯、大通東と豊平川が接する付近、中島公園、大通公園の西側付近を頂点とする、ほぼひし形に広がる区域

・様々な都市機能の集積による市民生活の質の向上、世界にアピールする都市
・魅力ある都市空間の創出
・先進的かつ積極的なエネルギーネットワークの構築促進

○交流拠点の整備(大通、創世、札幌駅)、創成川以東のまちづくり推進
○北3条広場、駅前通(サイドゾーニング)によるにぎわい空間の創出
○自立分散型エネルギーの推進

多様な交流を支える交流拠点

地域交流拠点

交通結節点等で地域や区の拠点としての役割を担う拠点
地下鉄始発駅(新札幌、宮の沢、麻生・新琴似、真駒内、栄町、福住)
その他(大谷地、白石、琴似、北24条、平岸、澄川、光星、月寒、手稲、篠路、清田)

・公共機能や中核的な都市機能の集積
・後背圏や近隣の魅力資源等と連携した地下鉄始発駅の機能向上
・冬でも快適な歩行者ネットワークの創出

○新さっぽろ、真駒内など地下鉄始発駅のまちづくり
○空中歩廊等による駅接続の推進(琴似、苗穂など)
○区役所の拠点への配置原則の確立(白石区役所)

高次機能交流拠点

札幌の魅力と活力の向上を先導する機能が集約する拠点
円山動物園、藻岩山麓、北大、苗穂、東雁来、モエレ沼公園・さとらんど、大谷地流通業務団地、東札幌、テクノパーク、札幌ドーム、定山溪、芸術の森

・魅力を高める活力を支える土地利用の推進
・投資や人・モノを呼び込む機能の強化

○大谷地
物流効率化に向けた流通業務団地の高度化の検討
○東雁来
食産業などの集積 など

持続可能な都市を支えるネットワーク

交通

地下鉄、バス、路面電車、道路、新幹線 など

・公共交通を基軸とした交通体系の確立
・路面電車のループ化、沿線の魅力向上
・骨格道路網の整備(広域連携の強化)

みどり空間

環状グリーンベルト、みどりの軸(コリドー)など

・みどりのネットワークの充実(環状グリーンベルト、コリドー)
・みどりの再構築の推進

エネルギー

熱供給基盤、再生可能エネルギーなど

・自立分散型ネットワークの確立
・広域的な再生可能エネルギー活用

○都心アクセス強化道路軸(創成川の機能強化、豊平川の延伸)の検討
○広域交通(空港、港湾、新幹線)の連携推進

○みどりのネットワーク充実(厚別山本、月寒公園等)
○地域特性に応じた公園機能の再構築

○都心・拠点等でのエネルギーネットワーク強化
○広域圏での再生可能エネルギーの活用

都市基盤の維持・保全と防災力の強化

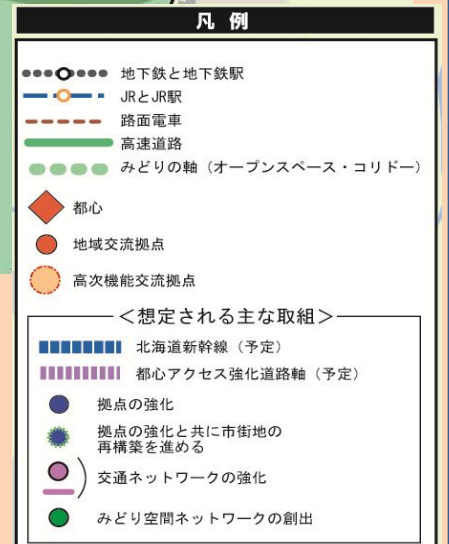
都市基盤(インフラ)

道路、橋梁、上下水道、市有建築物など

・既存の都市基盤の適切な維持と活用
・都市基盤の機能の見直し・複合化
・耐震化の推進

○インフラ(下水道等)の長期改修計画の策定・運用
○コミュニティ施設などの再配置
○都市インフラの耐震化、強靱化の推進

今後10年間の都心での主な取組



(例) 道市連携：みらい会議、
中核都市連携：食や観光の共同事業、
広域圏連携：再生可能エネルギー